



金山町 議会だより

第233号

令和8年5月14日

発行 金山町議会

編集 議会だより編集特別委員会

〒968-0011

福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393

☎0241-54-5341

〔3月定例会 会期3月6日～12日〕

・令和8年度当初予算・議案審議等…2～8

・一般質問 6人が登壇……………9～15



神秘の湖「沼沢湖」のほとりにある
妖精美術館（4月25日オープン）

前年比1億2,094万円(3.3%減)

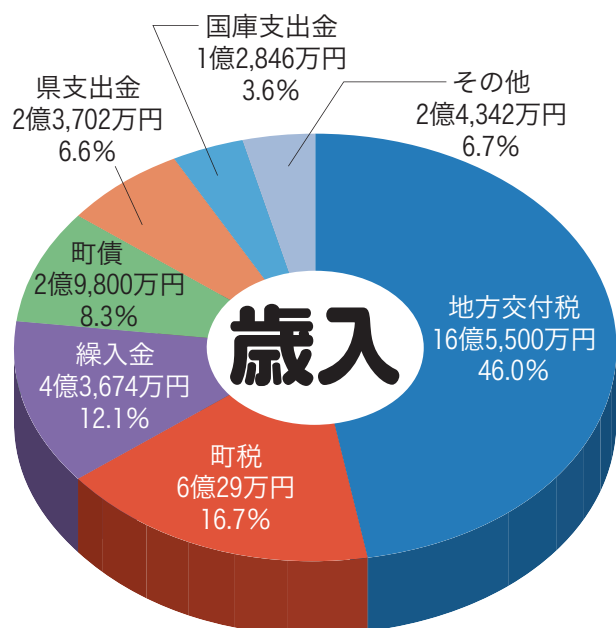
93万円を可決

3月 定例会



「起立多数」で可決した令和8年度一般会計予算

3月定例会は、3月6日から12日にかけて開催され、令和8年度当初予算、令和7年度補正予算、条例の制定・改正、人事など20議案と追加議案1件が提案され原案の通り可決されました。
一般質問は6人の議員により行われました。



**地方交付税大幅増
基金取り崩し微増**

前年度と比べ、町税は

一般会計の概要
令和8年度一般会計予算は35億9,893万円で、前年度と比較して1億2,094万円(3.3%減)の減額予算となりました。
また、特別会計予算は11億3,299万円(前年度比1.6%増)となりました。

全体で6億2,900万円(1.8%増)。町民税の個人所得割の増額が主によるものです。
地方交付税は、国・県の資料等参考に前年度比3.5%増の16億5,500万円を見込みました。
町債(町の借金)は、投資的業務分として2億6,000万円を計上しています。



令和8年度一般会計

35億9,8

令和8年度 当初予算額(会計別)

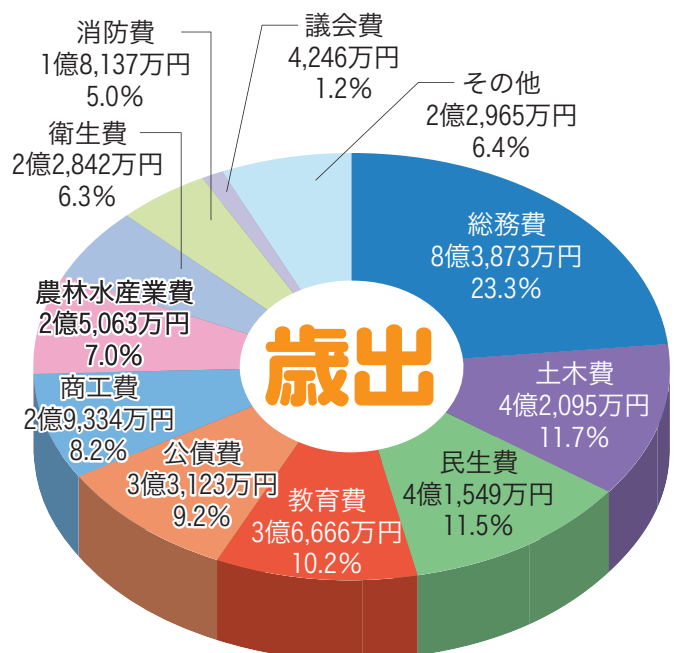
会計名		令和8年度予算	令和7年度予算	比較増減	
一般会計		35億9,893万円	37億1,987万円	△1億2,094万円	
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	3億633万円	2億8,014万円	2,619万円	
	国民健康保険(施設勘定)	1億6,041万円	1億6,951万円	△910万円	
	介護保険	6億818万円	6億1,069万円	△251万円	
	後期高齢者医療	5,807万円	5,408万円	399万円	
公営企業	簡易水道事業	収益的收入	1億7,444万円	1億8,113万円	△669万円
		収益の支出	1億8,088万円	1億9,087万円	△999万円
		資本的收入	9,345万円	1億1,723万円	△2,378万円
		資本の支出	9,964万円	1億2,256万円	△2,292万円
	下水道事業	収益的收入	1億6,010万円	1億6,636万円	△626万円
		収益の支出	1億5,377万円	1億6,102万円	△725万円
		資本的收入	4,126万円	3,266万円	860万円
		資本の支出	6,582万円	5,738万円	844万円

(田沢地区農業集落排水事業、各地区合併処理浄化槽事業及び川口地区公共下水道事業は下水道事業となりました。)

主要ソフト事業

(単位:千円)

事業名	事業費
乗合タクシー運行事業	39,726
高齢者交通安全対策事業(免許証返納)	600
高齢者世帯等エアコン設置事業	1,600
害虫駆除事業	1,080
敬老事業	5,753
緊急通報システム事業	2,218
中山間地域等直接支払事業	10,715
多面的機能支払推進事業	6,590
プレミアム付(25%)商品券発行事業	43,656



令和8年度当初予算 町長の提案理由

私は町政を進めるにあたり「安全・安心な生活環境の実現」「地域資源を活かした産業の振興」「次代を担う若者・子育て世代の支援」の3つを柱として取組んで参りました。令和8年度はこの3つの柱と総合計画に掲げる4つのプロジェクト「産業振興と雇用拡大、移住・定住・交流促進、みんなで子育て応援、健康づくりと支えあい」を総合的かつ戦略的に展開して参ります。施策を着実に推進する必要がある中で、物価高騰、労務単価や人件費の上昇による経費の増加、自然災害に備えた防災力の強化など、多額の財政需要が生じておりますが、重点事業に最優先に予算配分を行いながら、持続可能な財政運営に配慮し、町民福祉の向上を目指して取組んで参ります。



町長提案理由の説明

(令和8年度の事業概要)

- 防災……………災害などの非常時に対策本部となる役場庁舎に非常用発電装置を設置
- 移住定住……国が検討を進めている「ふるさと住民登録制度」に向けた町独自の事業を検討
- J R 只見線…駅舎、駅前周辺の地域活性化の素案をつくり、J R 東日本・福島県と構想を進める
- 地熱発電、系統用蓄電事業
……………複数事業者から問合せがあり、条件等整理し条例化を進める
- 農業……………農地集積、集約化のモデルとして田沢地区で畦畔除去による区画面積拡大事業実施

「自然の恵みと笑顔あふれる かねやま」を目指して ～思いやり 支えあいのまち～

主な事業

(単位：万円)

【産業振興と雇用拡大プロジェクト】

○ 農業経営支援事業	}	1,143
○ 農業用機械購入補助事業		
○ 特定地域づくり事業協同組合支援事業		1,900
○ 地域おこし協力隊事業		3,500

【みんなで子育て応援プロジェクト】

○ 妊婦・出産・育児支援事業	669
○ 保育所運営事業	7,321
○ 複式学級緩和及び特別支援事業	2,082
○ 教育家庭支援事業	969

【移住・定住・交流プロジェクト】

○ 川口高校地域みらい留学事業	3,721
○ 定住促進事業	2,521
○ ふるさと情報発信事業	702
○ ふるさと住民登録事業(新規)	790

【健康づくりと支えあいプロジェクト】

○ 住民健診事業	1,215
○ 人間ドック事業	118
○ 予防接種事業	977
○ 除雪対策事業	1,600

当初予算（議案審議）

一般会計・歳入

地方交付税増額

問 国は地方交付税を基本的に減らす方向でと承知しているが、数年見込み額が増えている。増額の理由は。

答 総務課長 地方交付税法で定められた割合で交付税の総額が決まる。総額に対し普通地方交付税94%。特別地方交付税6%が各自治体に交付されます。それを様々な算出根拠により積算し、普通地方交付税は昨年度より4,600万円多い15億4,000万円となっています。積算に当たっては、かなり堅い数字で見積もっています。

問 固定資産税5億3万円。地方税での標準課税1.4%を超えた1.7%での課税の理由は。

固定資産税、標準課税

一般会計・歳入

答 住民課長 福祉の向上の方に用いている。

問 単なる財源確保ではなく、福祉の向上といった政策目的のためであれば、町の課題が人材確保で移住定住の方向に向かっている。移住定住の政策目的に使う考えは。

答 町長 移住定住の部分でも財源をひねり出し支援してきた。超過分を充てる財源の充たについて、予算編成で整理する必要がある検討して行きたい。

固定資産税、滞納繰越

問 滞納繰越分50万円計上。年度末の繰越額総額は。その収納対策は。

答 住民課長 最終的には257万円程度。納付誓約書による納付。不履行の場合は預金の差押えなどになります。

ふるさと納税

問 収入見込み1,400万円。達成するための工夫は。

答 企画課長 町にとって貴重な財源。PRに努め町を知ってもらい、返礼品が大きな魅力であり新たな返礼品の開発も行っていく。



返礼品第1位「天然炭酸の水」

問 企業版ふるさと納税で返礼品は物だけでなく、体験などを返礼品にしている自治体も増えているが検討は。

答 企画課長 現時点で申込はありません。体験メニューの検討はしているが、整理できていない。

遊休施設の活用方法

問 農業実習館、生活体験館、自然教育村会館、若者交流センターそれぞれに使用料が計上。休んでいる施設が何力所かある。活用方法は。



利用の少ない若者交流センター(太郎布)

答 商工観光課長 各施設十分とは言えないが活用している。

問 若者交流センター、数年前屋根塗装し多額の経費をかけている。民間の利活用募集いつまでするのか。

答 商工観光課長 今のところ使い道がない状態で、受取り先がない時は解体撤去になると思うが、その年限は決まっていない。

問 若者交流センターについて早く方向性を決める必要があるのでは。

答 町長 譲渡又は賃貸を含め、もう1回公募をしたい。

一般会計・歳出

地域おこし協力隊

問 関連経費3,500万円。活動先、受け入れ先団体の選定の仕方、選び方は。

答 企画課長 町担当課から欲しい人材の要望を受け募集を行う。受け入れ先は担当課で選定している。

問 民間からの募集は可能か。

答 企画課長 制度上も可能だと考える。

答 総務課長 かねやま乗合タクシーの活用をお願いしたい。

公式LINE

問 委託料106万円。加入者数と目標人数は。

答 企画課長 3月1日現在510人。目標は900人。

季節性インフルエンザ予防接種

問 委託料181万円。高用量インフルエンザワクチンの対応は。

答 保健福祉課長 詳細が決まり次第補正予算で対応する。自己負担は2千円程度の考え。

放任果樹伐採

問 委託料240万円。委託先と伐採までの流れは。

答 農林課長 特殊な伐採以外は全て町内事業者で対応。各行政区長を通じて要望調査を行い実施している。

会津バス大芦線運行

問 バス運行負担金980万円。9月末で撤退。その後の代替は。



委嘱を受けた4名の隊員

町長・町議会議員 補欠選挙

問 ポスター掲示場設置撤去費96万円。設置の数は。

答 総務課長 現在69ヶ所に設置し予算計上している。

問 冬の衆議院選挙の時は22ヶ所に減らされたが、人口、集落も減る中、見直しも必要と考えるが。

答 総務課長 数、場所は選挙管理委員会決定されます。ご意見はお伝えする。



前回の町議選掲示板

問 投票管理者等報酬129万円。公職選挙法上の町における投票所の設置箇所数と予算の設置箇所数は。

答 総務課長 どちらも22ヶ所です。

問 人口減少、集落の状況等を含め、見直しを図るべきと思うが。

答 総務課長 冬の衆議院選挙の時、3か所の投票所を変える特例措置を適用した。今後選挙管理委員会と協議し、地元区長等の意見をいただき、削減を進めたい考えです。

問 移動投票所の考えは。

答 総務課長 選挙管理委員会でも検討はしました。柳津町で実施しており状況を確認。雨の日の対応、車への乗降など高齢者にもあまり評判が良くない時もあったそうです。



柳津町の移動投票所

特定地域づくり 事業協同組合

問 補助金1,900万円。町の担い手不足の解消、移住定住しかり総合的に大変有効な組合である。町の支援の在り方について。

答 商工観光課長 大変有効な事業組合であるとの認識し、全面的に協力していきたい。町への派遣についても検討していく。

白河―奥会津広域連携事業実行委員会

問 負担金20万円。新規事業で事業内容と期待するものは。

答 商工観光課長 白河周辺の市町村と奥会津の広域連携を進め、国道289号、400号に観光客を呼び込もうとする事業。5月に協議会発足予定で詳細は今後決定するもの。

中山間地域等直接 支払事業・多面的 機能支払事業

問 2事業で1,371万円の補助金。広域事業体の取り組みで、集落内の草刈等で役立っている。

地区の割り当て予算が不足になった場合の対応は。

答 農林課長 配分枠を超えた地区に対し、配分枠の融通を速やかに行えるよう町から申し入れをしたい。

温泉分析

問 手数料21万円。せせらぎ荘大黒湯は当初の遊離二酸化炭素が少なくなり「療養炭酸泉」の表示ができない状況にある。温泉分析をどのようにするのか。

答 商工観光課長 令和7年度は毎月検査を実施。今年度は年4回の簡易計測と1回の全項目検査を予定。令和7年度は4月の910mgが最高で1,000mg以上になら



せせらぎ荘大黒湯の気泡(あわ)

なかった。
※「療養炭酸泉」とは：
温泉水1リットル中に遊離二酸化炭素を1,000mg以上含むもの。炭酸泉自体日本にわずか0.6%しか存在しない幻の温泉と言われ、中でも高濃度で水温が比較的高い「大黒湯」は日本でも希少な温泉です。

現金自動受払機設置

問 負担金198万円。JAの機械で毎年掛かるのか。

答 商工観光課長 JA横田支所にある限り負担が生じる。また、紙幣切替などの機械更新時は負担金の変更もある。

公民館活動の 方向性について

問 地区の高齢化、集落の維持が難しい中、実情にあった多様な意見を取り入れ、地域の課題を解決できるような公民館活動の方向性に来ているのでは。

答 教育次長 2年間公民館長を置かずに運営を考えており館長代理は主事が担う。今後、公民館の統合、地域課題を解決できる公民館、地域づくりにについては全庁的に相談し対応していく。

プレミアム付 商品券発行事業

問 委託料4,366万円。複数年プレミアム率25%。事業効果の検証を町あるいは商工会等で行っているのか。

答 商工観光課長 2億円が町内で間違いなく回っているということ自体が相当な効果。商工会側から町への報告はない。

人事

◆金山町固定資産評価審査委員会委員の選任について同意しました。
星 ともこ
(土倉・新任)
任期は3月25日から3年間。

「若者移住・定住促進条例」が制定され、45歳以下の若者や子育て世代への支援が拡充していきそうです。地域おこし協力隊や奥会津かねやま福業協同組合など仕事づくりへの支援、空き家対策と併せ、各分野で今を支え、次代を担う人材の台頭を期待しています。文化財の保存・活用に向けた取り組みが加速し始めたことにも注目です。本年度も全員プレーで町の未来を共に考え、つくっていきましょう！
（大竹 一樹）

令和8年度当初予算において、基幹産業である農業の振興のために使われる予算は5,597万円です。新規就農者を育成するための補助金や、集落の農道、水路を管理するための交付金も含まれます。法人、集落営農組織、認定農業者がそれぞれの役割を認識し町の宝である農地を守り、次世代へ繋いでいきましょう！
（安藤 雅朗）

新年度の予算を中心に、町のこれからについて大切な話し合いが行われました。特に移住のサポートや只見線の守り方など、一歩踏み込んだ具体策がこれまで以上に必要だと感じています。予算が決まった今は、まだ「スタートライン」に立ったばかり。この予算が皆さんの笑顔や安心のために正しく、そして早く届けられるよう、私たち議員もしっかりと見守り、共に歩んでいく責任を強く感じています。
（加藤 夕子）

移住定住促進、文化財活用の取り組みに期待



農業振興費 5,597万円の適切な執行を！



予算決定はゴールではなく、町民の皆さんの笑顔へつなげるスタートライン



令和8年度当初予算 各議員の視点

守りの町政からの脱却に期待したい。



予算審議で答弁が食い違い。「どっちが本当なの？」



住民が主役の町づくりを



昨今の経済状況が厳しい中で、町民への様々な行政サービスに応える為の予算編成には、解決しなければならぬ問題や多くの課題があると感じています。町政運営の堅実な執行を評価し賛成致しました。その一方で、人口減少・少子高齢化のこの町の未来に、大胆な運営ビジョンを示さなければなりません。基金の積み立てだけではなく、町政自らチャレンジし町民の皆様にもチャレンジすることへの支援ができる町になることを期待しております。
（坂内 譲）

予算審議は町のお金の使い道をチェックする重要な場です。「特定の団体に有利ではないか」という疑念が生じ、町民への説明が難しい予算があるのに、執行側が論点をそらしたり逃げの答弁をしたり、副町長と担当課長の答弁が食い違っていると、内部で十分な議論があったのか疑念が生じ、「説明責任を果たしていない」「ごまかしている」と受け止められ、不信感につながります。
（栗城 康太郎）

本名・沼沢・横田の3公民館に館長を置かず公民館主事が今後の公民館のあり方を模索する予算となっている。地区公民館単位で町民が主体となり、地域課題の共有とそれを解決しようとする人材の育成を目標とした「社会教育」の充実に期待したい。
（横田 正敏）

※イラストはAIで生成しました。

■議案等審議結果一覧（一部を掲載しました。）

※議長は、採決に加わりません（賛否が同数の場合には議長が採決します）

※賛成「○」 反対「×」

件名	議決結果	大竹一樹	安藤雅朗	加藤夕子	坂内譲	栗城康太郎	横田正敏	五ノ井義一
■第2回定例会（3月定例会） 令和8年3月6日～12日開催								
令和8年度金山町一般会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	議長は採決には加わりません
令和8年度金山町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	
令和8年度金山町介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	
令和8年度金山町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	
令和8年度金山町簡易水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	
令和8年度金山町下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	
令和7年度金山町一般会計補正予算（第8号）	可決	○	○	○	○	○	○	
金山町若者移住・定住促進条例の制定について（若者の移住・定住を促進するため基本理念や関係者の役割を明記し、若者の定義を年齢が18歳以上45歳未満と定めた。）	可決	○	○	○	○	○	○	
金山町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について（こども誰でも通園制度で、親の就労条件を問わず未就園児を受け入れる事業。詳細は広報かねやま4月号に掲載）	可決	○	○	○	○	○	○	
金山町総合計画後期基本計画の制定について（金山町総合基本計画基本構想に基づく令和8年度～12年度の5年間の基本計画の策定）	可決	○	○	○	○	○	○	
金山町固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意について	同意	無記名投票による採決（賛成6票・反対0票）						
（追加提出議案） 金山町長等の給与及びその他の給付に関する条例の一部改正について（職員の懲戒処分「不適切な事務処理」の責任を取るため、4月支給給料月額の町長20%、副町長10%を減額する。）	可決	○	○	○	○	○	○	

議員との懇談会

「おらほの議員としゃべってみませんかの会」開催しませんか

金山町議会議員は、令和5年12月に改選されました。

7名（欠員1名）の議員の当選回数も1～2回と少なく、議員の平均年齢も55歳と比較的「フレッシュ」な議会となっています。

- そこで
- ・高齢化率の高い町での町づくり、地域づくり
 - ・若者が少ない町での町づくり、地域づくり
 - ・持続可能な町づくり、地域づくり
 - ・日頃考えている提案、アイデア などについて

皆さまからのご意見、ご要望をお聞きするため、議員が出向いての「おらほの議員としゃべってみませんかの会」の開催を計画いたしました。開催を希望される地区・事業所・団体等の担当者の方は、金山町議会事務局（tel 54-5341 fax 54-5345）までご連絡願います。

一般質問

— 金山町の
ここが聞きたい —

氏名(登壇順)	質問事項
1 安藤 雅朗 (10ページ)	・町の農業施策について ・町の補助金事業について
2 坂内 譲 (11ページ)	・只見線が再開通したことでの効果と不安要素について ・町が所有している施設等の有効活用は出来ていますか
3 横田 正敏 (12ページ)	・町長の政治姿勢について
4 大竹 一樹 (13ページ)	・良い取り組みを伸ばし、移住定住増へ
5 栗城 康太郎 (14ページ)	・金山町ごみ減量実施計画について ・安心・安全な生活環境づくりについて
6 加藤 夕子 (15ページ)	・只見線運休時の代替輸送体制の不備と、地域経済・住民生活への影響について ・定住促進のあり方と、一過性のイベントから「持続可能な仕組み」への転換について

○一般質問とは…各議員が本会議で町の一般事務や町の将来に対する方針などについて質問することで、「一問一答方式」により行います。
質問者一人につき、答弁の時間も含め50分以内としております。

議会会議録・一般質問動画(録画) 町公式ホームページ掲載のお知らせ



↑会議録は
こちらから



↑動画配信は
こちらから

議会会議録 について

議会だよりでは一般質問について紙面の都合によりすべてを掲載できません。
ホームページには全文記載されています。是非、ご覧ください。
(金山町ホームページ画面)

[暮らしの情報>](#)

[金山町議会>](#)

[目次](#)

[議会会議録](#) [令和8年議会会議録](#)

一般質問の動 画配信(録画) について

各議員(質問者)ごとに動画を見ることができます。一般質問の時間は50分です。本会議
での質問、答弁をそのまま配信しています。是非、ご覧ください。
(金山町ホームページ画面)

[暮らしの情報>](#)

[金山町議会>](#)

[目次](#)

[議会動画配信](#) [令和8年一般質問](#)

町の農業施策について

次代を担う農業者確保にいたっていないー町長

問 「地域計画」に基づき将来の農地利用をどう描いているか。また、担い手への集約化を促進するための新年度予算の考え方は。

答 町長 令和7年3月末に計画を策定したが、農地集約に前進的なのは33集落中1カ所に留まっている。新年度予算では、新たに「水田の経営規模拡大加算」を設け、10アールあたり3,000円

の本体支援に加え、規模拡大をした場合初年度に限り5万円を加算する。また、田沢地区をモデルとして農地の集積・集約を図る。

問 条件の悪い農地の受託など課題も多い。支援のあり方は柔軟に見直していく必要がある。一般農家の条件不利地への支援については現在研究中であり、令和8年度当初予算には計上していない。

答 町長 農業被害が発生した場合は各地区の実情に合った支援を行う。また、中山間地域等直接支払交付金を活用し、ポンプ管理の人員費も対象とする。抜本的な解決は難しいが、水源確保が困難な地域については畑作への転換支援なども含め検討していく。また、農業用施設において管理費についても、今後の参考としたい。

問 農地を守るために「奥会津金山大自然」は不可欠な組織だが、現在の経営状況をどう捉えているか。また、奥会津金山大自然だけに条件不利地の所得補償的な補助を出すのは、一般農家との公平性に欠けるのではないか。

答 町長 奥会津金山大自然は農地保全に必要不可欠だが、担い手不足や

問 人手不足で負担となっている地区の共同作業（草刈りや鳥獣害対策）に対し、町独自の活動手当を交付できないか。

答 町長 令和8年度予算への計上はないが、集落ごとの状況調査を行い、既存の交付金制度の有効活用を含め情報収集に努める。電気柵の見回り等

問 近年続く猛暑や水不足に対し、新年度予算でどのような対応するのか。

答 町長 渇水による農業被害が発生した場合は各地区の実情に合った支援を行う。また、中山間地域等直接支払交付金を活用し、ポンプ管理の人員費も対象とする。抜本的な解決は難しいが、水源確保が困難な地域については畑作への転換支援なども含め検討していく。また、農業用施設において管理費についても、今後の参考としたい。

議員のひと言
農は国の本なり。食のこと生きることです。



有効利用されている中山間地域等直接支払事業補助金
多面的機能支払事業交付金と併せ十分な支援を
地域づくりには欠かせません

町の補助金事業について

政策的なメリハリをつけるー町長

問 補助金適正化ガイドラインにより新年度予算で公益性、公平性、有効性、公正性、適格性の措

置 について伺う。

答 町長 新年度に向け5つの視点を基に可能な範囲で補助金の整理をし

た。一方でその時代の課題解決に資するため、政策的判断で補助率の上乗せ、補助対象経費の拡大

等の措置をとりながら、より効果的、効率的な事業展開を図って行く。



只見線が再開通したことでの効果と不安要素について

地域活性化に重要——町長

問① 金山町から見ての只見線の位置づけについて。

答 町長 令和4年10月に全線運転再開となり、福島県、会津地域、そして沿線地域の活性化を図るうえで非常に重要な路線と位置づけています。

問② 只見線の役割とその活性について。

答 町長 通院や通学な

ど町民が移動に利用する大切な交通機関であり、多くの観光客が訪れる観光資源としても重要な役割を持っています。町で把握している利用者の約9割が観光客で、近年は台湾を始めとするインバウンドが多く来訪されています。集客力を持つ只見線を観光面から活用することが重要です。本年4月からは「ふくしまデザインネーションキャン

ペーン」が始まります。今後も、「地方創生路線」として只見線のPR・情報発信に努め、地域活性化に繋がる活用を図ってまいります。

問 交通弱者の人達のための対策は。

答 町長 病院に通院ですと、県立宮下病院、会津若松市の会津中央病院それぞれ通院バスを出しており家の近くから病院まで利用でき、また、川

口高校への通学者もそれぞれ減っている状況です。町民の方に利用して頂きたい。

問③ 只見線の冬期間の運行について。

答 町長 昨年豪雪の影響でこれまで経験のない長期間での運転見合わせが続く、本年も会津川口〜只見間が約1カ月間運転見合わせでした。会津川口〜只見間は福

島県が施設等を保有し、東日本旅客鉄道株式会社が運行を行う上下分離方式ですが、町も沿線市町村と連携し、引続きJR東日本や福島県に冬季間の安全で安定した運行、防雪・除雪設備の整備、除雪等に伴う運休時の代行バス運行について要望してまいります。

町が所有している施設等の有効活用は出来ていますか

可能な限り図っていく——町長

問 今後増え続けている、町所有の施設の有効活用をどの様に考えていますか。

答 町長 自然教育村会館やあすなる館、旧横田小学校など、当初の目的を終えた施設等は、可能な限り有効活用を図っていきたい考えです。

自然教育村会館は、令和5年度予算で修繕及び改修予算を計上し、歴史や文化を次世代に継承するための交流施設として整備を図る考えでしたが、

具体的な活用方法を示すことができず、現在、計画の見直しを図っています。中川の宮崎遺跡の保

管・展示で、横田小学校跡地の活用を含め、文化財の保存・活用について事業計画の見直しが必要かどうかを判断してまいります。

あすなる館は、民間事業者に貸与する方向でしたが応募者がなく、活用方法を模索しております。

旧横田小学校は、跡地の利活用のプロポーザルに参加表明があり、今後企画提案書の内容を審査し利活用に繋げてまいります。

議員のひと言
「巧遅は拙速に如かず」今の金山には行動あるのみ



1事業者が事務所にしている自然教育村会館
昭和61年から40年に亘り弥平民具が展示
早期の施設の利活用を(玉梨地区)



よこ た ま さ と し
横田正敏議員の

一般質問

町長の政治姿勢について

チャレンジを応援しますー町長

町長として2期目の最終年度を迎え、町づくりの方向性や考え方について伺う。

問① 担い手不足が町政の最大課題になっているが、関係人口を地域づくりの担い手にする取り組みは。

答 町長 国は、地方への人の流れを創出・拡大するため、「ふるさと住民登録制度」の創設に向

けた取り組みを行っている。

関係人口を可視化し、地域の担い手や活性化などに繋げる仕組みとして創設されるものと理解している。国のガイドラインは、本年度末ごろと思われ

るが、可能な限り情報を集め、制度活用に向けた取り組みを進めるため、令和8年度に予算計上しました。

問 町から都会へ移り住んだ方々は、関係人口と捉えるか。

答 町長 当然入りますし、町に住みたい、関わりを持ちたい方大歓迎です。

問 この方々と「ふるさと住民登録制度」を何か結びつけることは。

答 町長 可能であり、東京金山会、県立川口高校首都圏同窓会など集まりの機会に町への応援について働きかけています。

問② 自給率が低く食糧

危機が心配、食の自立に向けた農業再編について。

答 町長 「食の自立」に向けた農業再編は特に難しい課題です。中山間地域で、全ての農地を維持するのは困難な状況で、条件に応じて機能的に区分し、生産性に重点を置いた比較的条件の良い農地について、畦畔除去を

行うなど耕作条件を向上させるための取り組みを推進します。

問 町独自の政策が必要。

答 町長 用水確保と畦畔除去による土地改良事業。残すべき農地を集約し、作業しやすく、美味しい米づくりに目指すことが大事では。

問 町長 新年度まずは田沢地区で土地改良を進めます。

問③ 金山町をチャレンジする町にしてチャレンジを応援する町に変えて欲しいが。

答 町長 町では総合計画基本計画などを策定し、2050年に人口1,000人程度という目標を設定しています。各分野での施策を通し、目標達成に向けたチャレンジを

続けます。また、担い手不足などの困難な状況でも、地区や地域をより良くするためチャレンジする取り組みには、町も積極的に応援していく考え

です。

財源やマンパワーという一定の制約はありますが、事業の効果を見極めつつ知恵を出し合いながら、人口減少対策という難題に対して官民一体となって挑戦してまいりたいと思います。

問 金山町の敵はあきらめの敵と無関心の敵ではないよりは、失敗しても取り組んだ方が良く、何もしないのが良くないと思う。物事に失敗しても

良いから取り組んでチャレンジする町に変えてほしいが。

答 町長 チャレンジする金山、異存ありません。町も応援し持続可能な自治体になりたいと思います。

問④ この10月に任期満了を迎えるが進退について。

答 町長 まずは、残された任期をまっとうしたいという思いと、今後スタートする新年度予算に掲げた事業をスピード感を持って着実に進め、その進捗を図っていくことが使命であると考えています。出処進退については、適切な時期に判断したいと考えております。

議員のひと言

早めに進退を表明し新人の出馬を促すことも大切では



農地の集積、集約化を進める畦畔除去事業
モデル地区として田沢地区から進め
町内での事業拡大に取り組む



良い取り組みを伸ばし、移住定住増へ

移住定住される方に喜んでいただけるようにー町長

戻りたいと思われる町、選ばれる町になるためには、さらに魅力ある町を官民一体で作りに上げていくことが求められると考える。金山町の移住定住政策の現状に対する町の見解と、今後の展望を伺う。

問① 地域おこし協力隊の受け入れ、サポート体制について、現状の募集はなぜ5名か。

答 企画課長 極力隊員の方と寄り添ってサポートを充実させたい。多くなると対応が難しいので、ある程度人数を絞っている。

問 町長や副町長の直属で協力隊を募集して、町の課題に柔軟、分野横断的に対応していただく考えはないか。

答 町長 そのような考えは持っていない。3年間(任期)の中で自立できるような活動をしていただきたい。

問 カスミソウの協力隊は定住に結びついている。稼ぐモデルがまだない農産物、林業2つの分野も、受け入れ事業者とのミスマッチがないように、声掛けをしてほしい。

答 町長 町が求める協力隊像と協力隊が町に求める像の差異はあると思

う。しっかりと見極めて選考に当たっていききたい。

問② 奥会津かねやま福業協同組合について、課題は冬場の仕事不足。法改正によって市町村に派遣がしやすくなったが、町への派遣を検討したことはあるか。

答 商工観光課長 昨年3月の法改正で組合員以外の派遣要件が年間2割から5割となった。冬場の仕事として除雪ドーザーのオペレーターおよび助手は建設課等で若干話をしたことはあるが、資格、免許等が必要となるのでこれからの検討課題。

問 奥会津金山大自然など、人手不足で本来の目的が達成できない企業もあると思う。組合員となつて人手不足を解消できるように働きかけをしないか。

答 農林課長 農業では

カスミソウ農家に調整作業で派遣を行っている。大自然の経営方針もあるが、提案はできると思う。

問③ 空き家対策と移住希望者の住居確保について、町営住宅や空き家改修補助のほか、町で空き家を購入、貸借し、すぐ住める状態にしておくことで生産年齢の家族が移住しやすい環境づくりができると思うが。

答 町長 移住したい方のニーズは様々あるが、現在空いている住宅の活用なども含め、これからの空き家対策の在り方を考えていく必要があると考えている。

問 町としての移住者の理想、ターゲット層など

あれば。

答 町長 思いとしては、45歳以下の方、若い方、家族持ちなら大歓迎。町づくりにおいても活躍の場があり、非常にありがたい。

問 仕事と住居は両輪である。空き家を活用した移住促進住宅の整備から譲渡の流れをつくり、空き家対策と住居確保を並行して進めていただきたい。

答 町長 十分慎重に検討しながら、空き家の利用、対策は進めていくべき。消極的ではなく、真ん中くらいの気持ち。移住定住される方に喜んでいただける施策を行っていききたい。

議員のひと言
若者目線の政策が次世代の町をつくる！



一昨年度、高知県梶原町の空き家活用事業を視察
空き家対策と住居確保が両立できる町の取り組み
金山町の300軒近い空き家の今後は



稼働しはじめた新ごみ焼却施設
皆さんで排出ごみの減量化に努めましょう
「家庭ごみ有料化」にならないために

くりきこうたろう
栗城康太郎議員の
一般質問



金山町ごみ減量実施計画について

受入れ制限のないよう、ごみ減量化を図ってまいりますー町長

会津若松地方広域市町村圏整備組合の新ごみ焼却施設は、環境負荷を減らすために、処理能力を当初の計画であった1日220tから196tへと縮小して建設されました。

この前提となる「ごみ減量実施計画」の目標が未達成の場合には、施設能力超過により住民生活および施設の維持管理に支障を来すおそれがある。

そのため、計画に基づく確実なごみ減量の達成が求められています。

策は？
答 町長 ごみステーションでの一時保管、パッカー車に積み込んでの一時保管、また、最終的な処理としては、環境センター以外の焼却施設での受入れ処理についても検討しています。

状況を踏まえ、令和7年度末の排出目標を令和9年度末に2年間スライドさせました。当町は、令和9年度末までに令和6年度の排出量から年間50tのごみ減量を達成しなければなりません。『ごみ減量実施計画』の取組状況は？

その達成に向けて木質系ごみの資源化や古布回収体制の拡充等に取り組み更なるごみ減量の推進を図っています。

問① 今年4月から2週間ごとにごみ減量の目標を管理し、目標を達成できていない市町村のごみは受け入れを制限されることになりました。金山町は、ごみ減量実施計画の目標を達成できていません。受入れ制限への対応

問② 会津若松地方広域市町村圏整備組合では、ごみ減量実施計画の進行

答 町長 災害廃棄物処理枠の活用によりごみ減量目標を年間391tとし、

議員のひと言
生ごみ3きり運動に取り組みましょう！

防犯カメラ等の設置について

設置場所や手法、財源の確保を含めて考えてまいりますー町長

町長は公約の第1に「安心・安全な生活環境づくり」を掲げておられますが、地域の安全対策は？

答 町長 役場や学校等の公共施設、観光施設等に設置しているほか来訪者の多い川口駅前や道の駅にも設置しています。

今後は今年の夏の猛暑時における耐久性も検証したうえで、設置場所や設置手法、財源の確保も含め、防犯カメラのさらなる整備について検討を進めていきます。

議員のひと言
事件の抑止、犯罪の防止、早期解決に必要

問① 防犯カメラを各集落の入り口や国道・町道の分岐点に設置することで、犯罪の抑止や事件の早期解決だけでなく、子

リアルタイムで監視可能

今年度には太郎布地区及び田沢地区において、

早期解決に必要





只見線運休時の代替輸送の不備と、地域経済・住民生活への影響について

要望活動が重要——町長

問 JR只見線冬期間の運休による、JR東日本、福島県に対しての代替バス運行、除雪体制の充実、雪崩対策等積雪時の安定した運行のための要望活動の内容について。

答 町長 昨年6月定例議会以降、7月に会津総合

合開発協議会で、各市町村長や議長が東京に赴き、首相官邸や国土交通省のほかJR東日本本社などに、只見線の冬期間の安定した運行の確保、防雪・除雪設備の充実などと計画運行を行う場合の代行バス運行の要望書を提出

しています。8月には、会津総合開発協議会の構成市町村が福島県知事、生活環境部、商工労働部などに同様の要望書を提出しています。

また、福島県鉄道活性化協議会では11月にJR東日本新潟支社、12月に

はJR東日本東北本部を訪問し、雪崩防止対策や豪雪などによる運休期間中の代行バス運行についての要望書を提出しました。

また、要望活動を頻繁にしていたありがたいとございます。次の手は何か

定住促進のあり方と、「過性のイベントから」持続可能な仕組みへの転換について

仕組みの転換が重要——町長

問 町の最重要課題である「定住促進・少子化対策」で単に「人が集まるイベント」を増やせば定住が進むのでしょうか。過去のイベントでどれだけ「定住の実績」を作ってきたのか。もっと日常的に若者が集まれる「溜り場」をつくる考えは。

町を目的とした事業に転換していません。また、自主的な活動については、町もすっかり応援していきます。

民間と協働して賑わいを創出していくことは、今後あらゆる事業を実施するなかで重要な視点です。

もてなし事業で町は応援する制度があります。行政にも限度があります。議員活動又は町民として町に具体的な提案をいただければと思います。

答 町長 町は、これまで実施した事業の結果や反省から、町内の若い世代が知り合いや友人を増やし、交流を深めること

かつては町内にも、予約なしで食事やお酒を楽しめる店が複数あり、老若男女問わず多くの方で賑わっていました。地域の賑わいを取り戻す取り組みは重要であると理解しています。自治体ができることを見極め、持続可能な仕組みを取り入れ、

「地域交流スナック」。町がスナック経営。営利目的の飲食店ではなく、孤独孤立を防ぎ、多世代が交流するための夜の公共サービス。町長の考えは。

議員のひと言
議会だより230号「窓」
「自治体がスナック直接経営する？金山町活性化への新たな案」を読んでみてください

再開通後冬期間運休が多い
会津川口—大白川間

(第七只見川橋りょう 会津横田駅—会津大塩駅)





子や孫に残せるものとは・・・

「お久しぶりです」。聞き覚えのある声に呼び止められました。彼は、10年前にアメリカ・ラスベガスから川口高校に転校してきた生徒でした。英語の堪能さを一芸として卒業後、青山学院大学に進学した、私にとって非常に印象深い一人で、Kくんといえます。一声聞いただけですぐに高校時代の顔が浮かびました。

思い出の地は数多くあるでしょうに、初めて買ったバイクで彼女と一緒にツーリングする先に金山町を選んでくれたこと。これには、格別の喜びを感じるとともに、家業としてこの地に居続けること「継続すること」の大切さを改めて強く感じました。

私の学生時代は、先生からの「愛のムチ」と称される体罰が日常茶飯事でした。父兄からも推奨されるほど、先生の権限と信頼が絶大だった時代です。だからこそ、部活動や学校生活で先生からかけられた言葉は、10年後、20年後に自分が同じ立場や状況になった時、ふと昔を思い返し、「あの時の先生の言葉は、こういう意味だったのか」と、大切な金言として感じられることがあります。学生時代は自分の人生を振り返ることは少ないのですが、大人になるにつれあの頃はよかったですと振り返ることが多くなり、金言と共に言われた時の状況が蘇ってくるのです。

つまり、教育や後継者問題、事業承継、そして親子関係においても、その本質や価値が分かるまでには、やはりかなりの時間が必要で、一生それをわからずに終えてしまうこともあるのが普通なのだと思います。

青山卒のKくんは言いました。「高校生の頃は、ラスベガスから急に川口高校に連れてこられ、当時はネット環境も未発達で、現地の友人と繋がることもできず、遊ぶ場所もないからゲームばかりしていました」。しかし、続けてこう言ってくれました。「けれども、恵比寿屋の人たちと一緒に過ごした1年半の思い出は、ずっと消えないんです。いつか必ず大人になってから行きたいと感じていました」。

私たちが若者に言葉をかけるとき、遙か未来の人生を考えてアドバイスを送るわけではありません。しかし、昔の人は嫌われようとも一生懸命若者に、厳しい社会を生き抜いてもらいたい一心で、経験話を話していたのだと思います。Kくんのように、10年後に訪れてもらえるぐらいの深い関係を築いたのであればよかったです。

この「金山町で育まれた情熱」が、今後も多く関係する方々に届き続けていくのなら、こんなに嬉しいことはありません。まさにその情熱こそが、私たちが子や孫に残せるものではないでしょうか。
(坂内 譲)

県町村議会議長会副会長退任

五ノ井義一町議会議長は、令和5年5月12日～令和8年4月10日の間、両沼地方町村議会議長会会長を務め、その間の令和7年6月5日～令和8年4月10日は、県町村議会議長会副会長としても活躍され、感謝状の贈呈がありました。(両沼地方は会津坂下町・湯川村・柳津町・会津美里町・三島町・昭和村・金山町の7町村です。)



感謝状を受ける五ノ井議長(右側)

ごあんない

次回の定例会は、6月12日頃開会予定です。
一般質問は6月15日頃となります。
「開かれた議会」を目指しておりますので、皆様お気軽に傍聴においで下さい。
○役場1階の受付で「傍聴券」を受け取り
4階の議場においで下さい。

- 〔発行責任者〕 議長 五ノ井義一
 - 〔編集委員〕 委員長 横田 正敏
 - 副委員長 安藤 雅朗
 - 委員 坂内 譲
 - 大竹 一樹
- 次回、金山町議会だより第234号は、8月上旬頃発行予定です。